

ECO

おすすめ車種 ▶ LEG TW LEG B4 LEV IMP

安全性能、長持ち！

ECOPIA
NH200

エコピア エヌエッチ ニハック

おすすめ
ポイント

- ウエット性能・ライフ性能を両立したハイレベルな低燃費性能を実現
- 高い耐偏摩耗性を実現
- 車内での静粛性向上

ハイレベルな低燃費性能を実現

「エコテクノロジー構造」採用により、タイヤが転がるときに発生するエネルギーロスを低減し、ウェット性能やライフ性能と両立した高い低燃費性能を実現。

偏摩耗を抑制し、安全性が長持ち

偏摩耗を抑制する高剛性ショルダーブロックを採用した新パターンとブリヂストン独自技術のULTIMAT EYE®(アルティメット アイ)により、接地圧を均等にすることで、高い耐偏摩耗性を実現。

車内での静粛性が向上

走行中のノイズを抑制する新パターンを採用し、車内での静粛性に配慮。

ウェット性能の長持ちを実現する新パターン

■マルチラウンド・ブロック
リップ端部の角の丸みを最適化してリップ中央の接地圧を高め、ウェットグリップを向上。

■スライドピッチ
ブロック剛性を最適化して耐摩耗性能を高め、ウェットグリップを向上。

IN側

■セントラル・スリット・スロット
ブロック剛性を最適化して耐摩耗性能を高め、ウェットグリップを向上。

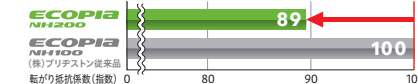
OUT側

■高剛性ショルダーブロック
ショルダー部の剛性を高めることで、偏摩耗とふたつきを抑制。

※説明のため各部分に色をつけて表現していますが、実際には色はついておりません。



■転がり抵抗比較*1 (値が小さい方が良)



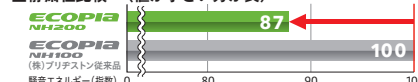
転がり抵抗
11% 低減

■耐偏摩耗性能比較*2



耐偏摩耗性能
23% 向上

■静粛性比較*3 (値が小さい方が良)



静粛性
13%* 低減

★音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%) = $\left(\frac{1}{10^{\frac{10}{10}}}\right) \times 100$

*1[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/試験荷重:4.82kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:(株)ブリヂストン技術センター室内ドラム試験機

*2[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/空気圧:フロント250kPa/リア240kPa/試験車両:トヨタ プリウス DAA-ZVW51 1790cc 2019年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に1回実施

*3[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/空気圧:フロント250kPa/リア240kPa/速度:60km/h/試験車両:トヨタ プリウス DAA-ZVW50 1790cc 2016年式 前輪駆動/試験距離:(株)ブリヂストンブルーミンググラウンドのスムーズなアスファルト舗装路/計測方法:スミーズなアスファルト舗装路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定、騒音計で計測車両運転手の左耳近傍の音圧を計測。

※上記テスト条件に関するさらに詳細なデータについてはタイヤ公正取引協議会に届けてあります。

※試験結果はあくまでもテスト値であり運転の仕方によっては異なります。

ECO

おすすめ車種 ▶ JUS TRE STE LUC PLE R1/R2

安全性能、長持ち！ 軽・コンパクト専用*1

ECOPIA
NH200 C

エコピア エヌエッチ ニハック シー

おすすめ
ポイント

- ウエット性能・ライフ性能を両立したハイレベルな低燃費性能を実現
- 高い耐偏摩耗性を実現
- 軽・コンパクト専用設計により、ライフ性能の向上を実現

ハイレベルな低燃費性能を実現

「エコテクノロジー構造」採用により、タイヤが転がるときに発生するエネルギーロスを低減し、ウェット性能やライフ性能と両立した高い低燃費性能を実現。

偏摩耗を抑制し、安全性が長持ち

偏摩耗を抑制する軽・コンパクト専用パターンとブリヂストン独自技術のULTIMAT EYE®(アルティメット アイ)により、接地圧を均等にすることで、高い耐偏摩耗性を実現。

軽・コンパクト専用設計 ライフ性能が向上

ブロック剛性を最適化した軽・コンパクト専用パターンにより、ライフ性能の向上を実現。

軽・コンパクト専用パターン

■マルチラウンド・ブロック
リップ端部の角の丸みを最適化してリップ中央の接地圧を高め、ウェットグリップを向上。

■マルチ・ダイレクション・グループ
ブロック剛性を最適化して耐摩耗性能を向上。

IN側

■セントラル・ダッシュ・スロット
ブロック剛性を最適化して耐摩耗性能を向上。

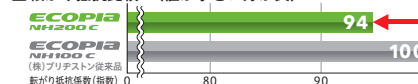
■ライフポジション・グループ
ショルダーブロックのラグ溝を互いに配置する事で剛性を高め、偏摩耗とふたつきを抑制。

OUT側

■高剛性ショルダーブロック
ショルダー部の剛性を高めることで、偏摩耗とふたつきを抑制。

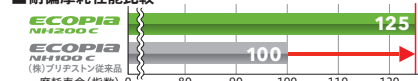
※説明のため各部分に色をつけて表現していますが、実際には色はついておりません。

■転がり抵抗比較*2 (値が小さい方が良)



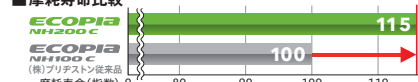
転がり抵抗
6% 低減

■耐偏摩耗性能比較*3



耐偏摩耗性能
25% 向上

■摩耗寿命比較*4



摩耗寿命
15% 向上

*1 軽・コンパクト専用タイヤは、そのタイヤサイズが主に使用される車種で区分しています。従って、車種別専用設計タイヤのサイズが使用車両の新車装着サイズやオプションサイズ、あるいはサイズ対応が認められているサイズであれば専用車種以外の車でも使用いただけます。

*2[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/試験荷重:3.04kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:(株)ブリヂストン技術センター室内ドラム試験機

*3[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/空気圧:フロント240kPa/リア230kPa/試験車両:ホンダN-BOX 650cc DBA-JF3 2017年、2018年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に実施

*4[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/空気圧:フロント240kPa/リア230kPa/試験車両:ホンダN-BOX 650cc DBA-JF3 2017年、2018年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に実施

※上記テスト条件に関するさらに詳細なデータについてはタイヤ公正取引協議会に届けてあります。

※試験結果はあくまでもテスト値であり運転の仕方によっては異なります。

おすすめ車種 記号の説明	SOL ソルテラ	LEG TW レガシイ ツアリングアゴン	LEG B4 レガシイB4	LEG OB レガシイ アウトバック	LEV レヴォーグ	LEV LAY レヴォーグ レイバック	IMP インプレッサ	CRO クロストック	XV SUBARU XV	WRX STI/S4	FOR フォレスター	EXI エクシガ クロスオーバー
記号の説明	BRZ SUBARU BRZ	REX レックス	JUS ジャスティ	TRE トレジア	DEX デックス	CHI シフォン	STE ステラ	LUC ルクラ	PLE プレオ	R1/R2 R1/R2	DIAS ディアスクワン	
	NANO PRO-TECH®	ナノプロ・テック®	ULTIMAT EYE® (アルティメット・アイ)	グリーン購入法 適合商品	ECO-FRIENDLY	ECO-FRIENDLY						

※詳しい適応車種については、店頭スタッフにお問い合わせください。 ※転がり抵抗性能・ウェットグリップ性能・低車外音タイヤについてはサイズによって異なります。